

井上フィールド科学研究基金による研究活動助成 —第 15 回公募報告—

井上フィールド科学研究基金運用委員会

1. 第 15 回公募報告

本誌 70 卷 3 号 (2008 年 5 月) にてご案内した標記公募 (2009 年度助成) に対し, 対象 B (研究交流活動) に 1 件の応募がありました. 審査の結果, 下記のように, 対象 B として 1 件の研究活動に助成いたします.

対象 B (研究交流活動)

*課題名: 「IGS 国際シンポジウム発表とエクスカージョン参加」

*申請者: エヴゲニ・ポドリスキ (Evgeny PODOLSKIY)
名古屋大学大学院環境学研究科 博士後期課程 2 年

*計画概要: 2009 年 4 月にインド・マナリで開催される IGS 国際シンポジウム (International Symposium on Snow & Avalanches: Processes and Effects of Global Climate Change) に参加し, 地震雪崩学に関する日露共同研究の成果を発表するとともに, エクスカージョン参加とインド雪崩研究所 (マナリ) 訪問を通じて各国研究者との交流を深め, 地震雪崩学分野の観測研究に有益な情報を収集する.

*発表: Evgeny A. Podolskiy, Pavel A. Chernous, Osamu Abe, Kouichi Nishimura, Nikolay V. Barashev; Experimental study of vibration and shear loading rate influences on snow shear strength and their role in seismicity-induced avalanche release

*助成額: 20 万円

*審査意見: 本申請は, エクスカージョンを含めて, 一般的な学会参加の範囲を超えるものではなく, フィールドワークの比重は小さいため, 本基金から支援する必要性はやや小さい. しかし, 地震に起因する雪崩という, 研究例, 研究者の少ない分野であるため, 申請者の研究発表と, 各国研究者との交流は意義があり, 今後の発展が期待される. 航空運賃, 燃油料を精査した結果をふまえての必要経費約 22 万円に対し, 20 万円を助成する.